

米づくり情報 第2号

令和2年7月9日

平坦部(佐賀県農業試験研究センター)

本年産水稻の生育状況(7月9日)

移植日	項目		草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齢 L	概況 (平年と比較して)
	年次	品種				
6月18日	夢しずく	本年	35.3	154	7.3	【気象】 7月2日～7月8日の気象を平年値と比較すると、気温は1.0℃低く、降水量は400%、日照時間は68%であった。 【生育】 【草丈】 「夢しずく」は平年並み、「ヒノヒカリ」は高く、「さがびより」はやや高い。「ヒヨクモチ」はやや低い。 【茎数】 すべての品種で少ない。 【葉齢】 「夢しずく」はやや進んでる。「ヒノヒカリ」、「ヒヨクモチ」は平年並み。「さがびより」は進んでいる。
		平年(※)	35.1	173	7.1	
		平年比(差)	101	89	+0.2	
	ヒノヒカリ	本年	30.8	217	7.4	
平年(※)		28.5	238	7.3		
平年比(差)		108	91	+0.1		
6月19日	さがびより	本年	31.1	156	7.5	
		平年(※)	30.1	175	7.0	
		平年比(差)	103	89	+0.5	
	ヒヨクモチ	本年	26.9	220	7.5	
平年(※)		27.7	257	7.4		
平年比(差)		97	86	+0.1		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 浅水管理を行い、分けつの促進に努める。 ○ 土壌の強還元状態が続いている場合は、落水し土壌へ酸素供給する。 ○ ヒノヒカリ、ヒヨクモチ等の追肥の必要な品種では、時期を逸しないように注意する。 ○ 大雨によって圃場が浸冠水した場合には、退水後速やかに新しい水と入れ替えたのち、いったん落水して土中に酸素を供給し、発根および分けつの発生を促す。 					

注)・「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月18日移植の稚苗(播種期5/25、播種量 湿粳 180g/箱)

「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月19日移植の稚苗(播種期5/26 播種量 湿粳 180g/箱)

・栽植密度: 「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm, 19.6株/m²(65株/坪)

「さがびより」は、条間30cm×株間20cm, 16.7株/m²(55株/坪)

「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm, 22.2株/m²(73株/坪)

・栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。

・平年値は、過去7ヵ年(平成25～令和元年)の数値を7月9日に換算し、その内最高と最低を除いた5ヵ年の平均値。

・概況欄の【草丈】、【茎数】の平年値との比較については、以下のように定義している。

低い(少ない): 94以下、やや低い(やや少ない): 95～98、平年並み: 99～101、やや高い(やや多い): 102～105、高い(多い): 106以上

【窒素の時期別施用量(N kg/10a)】

品種	基肥	中追	穂肥Ⅰ	穂肥Ⅱ	実肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0	3.0	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0	4.0	1.5	1.5

令和2年産 稲作期間気象図

アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター
作物栽培研究担当

